

**製品名: APPBP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01665**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 60 kDa; Observed MW: 60 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NAE1
別名	NEDD8 activating enzyme E1 subunit 1; HPP1; ula-1; APPBP1; A-116A10.1
遺伝子 ID	8883
SwissProt ID	Q13564
免疫原	ヒト APPBP1 の合成ペプチド

**背景**

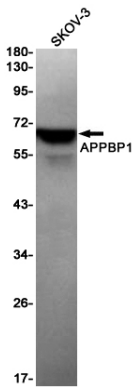
二量体 UBA3-NAE1 E1 酵素の調節サブユニット。E1 は NEDD8 を活性化する。まず C 末端グリシン残基を ATP でアデニル化し、続

いてこの残基を触媒システイン側鎖に結合させることで、NEDD8-UBA3 チオエステルと遊離 AMP を生成する。E1 は最終的に NEDD8 を UBE2M の触媒システインに転移させる。これは S-M チェックポイントを通過する細胞周期の進行に必要である。NAE1 の過剰発現は、NEDD8 の共役の調節異常を介してアポトーシスを引き起こす。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



APPBP1 抗体を使用した SKOV-3 溶解物中の APPBP1 のウェスタン ブロット分析。